日四

# **廣田外相、來週政黨と懇談** 常設連絡機關を設置

方面と密接な連絡をとり方法として常設連絡機關を設け、さ は國際情勢、微妙な動きにともなつて變化するが故にこれに對處するため政黨。民間 らに必要に應じて陸、海、外務の三省會議を行ひ擧國一致外 **諒解をつけるため外務省の關係局をしてこれが準備を急がしめてゐるが、およそ外交の針を述べ諒解を求め爾來政民兩黨ならびに貴族院各黨代表者と會談して外交政策を説** 

交の實をあげるべく努力するととなった

して承認を求めた上、直ちに活動を開始することゝなつた
一、學生の政治研究座談會
一、中央課習會
一、地方講習會
一、地方講習會

然の昂揚につとめることで、一、その他言論部長等による一、その他言論部長等による 塚越兩氏に ッ王

理論 宇宙活地方を中心とした。 東方日本海に至る廣地域の東方日本海に至る廣地域の東域故地)より東方日本海に至る廣地域の東方田が域及其以北 流域間島地方布爾哈通河

農安伊通に至る 鴨絲江上洗渾江流域

前えた妖女(二)

大景品附特費中

景品總當 5

面を開けば御當籤が直ぐ到るし

そのボールが飛行機に命中 ポール十個、五銭 早く飛行機をうつて下さい 供が、律のたもとをひつばりながら、お菓子の添い箱をさしだした。

わらひますよ

びよんさ娘を びよんさ観色の屋がさびあがきな寒暖計みたいな目盛りに 水をためた箱の中で、ぜん ト・レー

『おい、そんなにひぐくぶつ大きなこゑで

労働者らしい岩者が二人、

なげてゐる。

だよ。そら!」

ボールをなげた。

さほつて

そんなものト間をぐる」

スポーツ茶屋

『いや、經濟的にやつてるんつけちやだめだぜ』

魏 大遼河、渾河、太子河流域より西方 南沃沮 朝鮮咸興を中心とす る城川江流域

金地

直房

白。

数値インキ製造株法令

距今約千七百年頃

滿洲國東南部に於る形勢

想祭

するさ、パッさたふれて、そ お鳥行氏(映書配給)同園 るのである。 するさ、パッさたふれて、そ わったり (映書配給) 同園 るのである。

黒山をつくつた子供や大人 て、あひすみませんごおじぎやつてきた係の事務員のまへ んて行儀のわるい。……人があもう年分たべたんだね。な んて行儀のわるい。:

皮のボールをたとくさ、大をした。 おつかあ、もうさつきてた







久保田豊氏 十三日酸率天



# 

並に同官制改正

明年度豫算編成に

政府慎重を期す

企畫廳愈よ準備工作

民政黨が目指す

鑀鋼五ケ年計畫再

眼科

氏氏 同零天

月南氷洋へ向け翌航する計畫を了し來年九月上旬載工、十 往來

のたまでなんべんもできるか

ら、無病的だらう

少女は秀夫をひつばって出口

のをひよいさうけごって

つて大きくはねかへつてくる

大氏同大連へ一氏同古林へ 日のルピンへ

判りはせぬ に登場、何處まで載く内訌か 0 8 子供をせをつたおかみさん が、よごれた財布から白網報 販売では、お菓子の自動

「さあ、こゝよ」

「まあよんでごちんなさいな

世帶道具の御用なら

信用ある當店で

電々會社特約店で

つれて

▲東谷傳文郎氏(會計檢查員) 同 ▲田中工氏(滿螺主計課)同 ▲西東太郎氏(同)同 ▲高渡鶴氏(同)同 ▲馬渡鶴氏(同)同

氏(官吏) 飼向

マウスの漫画がうつりはじめ 正面のすりガラスにミッキー まはりをさりまいた客たち するさぎりで智がして、

たとく。 が一しよにのぞきこんで手を 『たまらないうつぶんのすて さかいて

コに似たり、この批評も首首

されて來る

「ほとう」 さ、説明してあつた。

氏へハルとと民 (演江省公署警

印紙鉄で別述な舞、よろして置くがよい

八幡市會議員)

トルばかりもはなれて全種を であがるさ、射的場のやうな 東はだぬいて、ちゃみのシ

當六月十八、 東西浪曲界の第一人者 入場料一圓八十錢 於 記 念公會堂

列所閉鎖は惜しく、口情しこれからといふ時に土蓋品 態よ夏へ、季節に

いれたのにてませ テキだねッだれか係の人はる

「もし!」てませんよ、十銭

もつた、グロテスクな大きなことでもお客は山のやうだ

二十日 午後正七時開演 (H

傳染病の以

(=)

### 一家闡樂してゐるところへ黒民政部藝務司督察官劉則漢氏 ろ特別市豐樂路市場西北角 分 | 京署等と連絡し、松島署長陣した、屆出でにより所轄大經のとた、屆出でにより所轄大經の場所のでは首都等暴騰、新

池田部長さん 人こして出廷

て 人奢理のため吉林高等法院か なつた

「 大奢理のため吉林高等法院か なつた

「 大奢理のため吉林高等法院か なった

「 大奢理のため吉林高等法院か なった

「 大奢理のため吉林高等法院か なった

息子でヒリッピ

四歳、マニラ社交界の花形と自分で組織してゐる、本年計 ある

の閉鎖は各方面から惜しまれ

的取引上遺憾に思 將來滿洲物産の設

(t

訪滿天台宗答禮

團一行吉林へ

產品陳列所 閉鎖さ 3

を開設して以來補洲國

懸賞ポスター 飛行協會 への関心を

| 二名選外佳作四名を 外常貞夫氏は十三日午後六時外の場合は現象中の貴族院議員

久常貴院議員

三載馬(一、八〇〇米、一種七〇、編彩票、1九三國

科主 地方係長 瀬州 四ため出張中の浦銀新京事務 里、大黒河、綏芬河方面親察 里、大黒河、綏芬河方面親察

1 支岸(一分四五秒一) 2 三國、復、1六國三〇、2 三國、復、1六國三〇、2 三國三〇、3八國九〇、搖 ※栗、1五〇一國七〇、2 第四蓋馬(一、八〇〇米、 1 支岸(一) 2

は十六日發ヒカリで離京朝鮮は十六日發ヒカリで離京朝鮮 郷由東上に決し十四日暇乞挨 郷に東社した、氏は在任五年 野に来社した、氏は在任五年 ) 五競馬(一、八〇〇米、 園二〇、等外二〇園四〇 園二〇、等外二〇園四〇 一、八〇〇米、

向十

五日より

正札

より

割引

(足袋類を除)

植木關東軍顧問

十六日朝離京

競馬 ○一、八〇〇米、 一、滿洲國人運轉手 一、滿洲國人運轉手

日午前八時四十分級で吉林に 十五分離京し、十五日午前八 時二十分辨列車でハルビンに 出渡の強定である

延吉都邑計畫

現地委員會

大延吉發展の礎

日午前八時四十分酸で吉林に訪滿天合宗答禮團一行は十四

**宁明日京城で、 收穫期待** 

さる

着々立案を急いであるが、右 治ななるべき 延吉 都 邑計畫

馬(一、八〇〇米、

**激て省公署側においで餌觸人** 

對する現地委員會の組織は

2 三初、3 并尉、配當一單 大一閩七〇、復1 一〇國、 六一國七〇、復1 一〇國、 六一國七〇、3 三二國四〇 「第一次等外三八國八〇、2 「第一次等外三八國八〇〇米。 「第一次等外三八國八〇〇米。

| では、 | では、

店讓

技の所 間合せ電話③ 三七六七へ 間合せ電話③ 三七六七へ 泰

室貨 炊事、入浴の設備あり 日本橋通

滿洲中央銀行總行庶務課 有する者

上六月十七日迄に當課へ出頭相成度。 第十希望者ば左記により自筆履歴書特象の 當行新發屯中銀倶樂部日人女子受付係を募 日人女子從業員

六九四八

カフエー、奥茶部、飲食店カフエー、奥茶部、飲食店 飲食店、 向造作

五百圓に 40

大募集

(三) 器配

本月十五日より開業致す事となりました何卒倍値の引立御愛顧の程偏に御願ひ 申上げまず就きまして開催記念と致して左記の通り率仕申上度精々御用命の程

**扨て氷らく店舗改築の爲め御不自由相料け卧りました處今般漸く落成畝工致し** 

日を追ふて向暑の折柄皆々稼蔵々御健勝の段質上率ります

改築落成特別大賣出

### 昨宵の口警務司督察官宅に 馬車に乗つて逃走 圓を强奪

### 門から出て馬車を拾つての國幣七元を強奪し、悠 特別市を總動員 々的衛生 一週間

來る二十二日

右會議において

保險健康相談所

央通大阪屋號隣に開設した

浦鐵社員會の射撃訓練は全補

十八、廿一兩日

十五兩日に

開所式を擧行十六日から事務 を開始すること」なつたが十 五日正午からヤマトホテルで

新京事務局の

短過路を開設する 短過路を開設する で換開を増加する 満間の郵便避送

に大きな牧後を**齎すものと** 三點が協議され日鞴郵便連

第卅九回福民獎券

列車類覆事件詳報左の如し 軍人輔は線質の電子

文組合等各種團體含加のも 関新原業種面組合、特別市 日新原業種面組合、特別市

(東京園通) 関際観光局では 東京園通) 関際観光局では 東京園通) 関際観光局では 東京園通) 関際観光局では 東京園通) 関際観光局では

信とも協力模重に人き ・ ラボロンデ、ヒョ

から 嘱託の いっと カル・リップ・コリップ・コイコンデ、ヒリッピンル・コイコー で決定

致に外國人を屬託

四四四四三三三三三二二二一一一 八五一〇七七三三二〇〇五二一〇七六四一〇三五、四〇六三八三九四四九六〇一五六五三二八三四四 四〇六三八三九四四九六〇一五六五三二八三四四 一四五〇八六一八五五二九一七一一四五〇四二七 五〇一〇六一二一〇〇六一七八八九七二五七四五

人六三〇九五五三三一〇六三一一人七四三〇一人 五二九八〇九五二六二八九四六〇二一八九九七四二〇三二六八三五八四四六二二〇五〇六四六一一七二二七二八七五四四九二三九五〇〇一六一八六

懇談會開催 ・立案・代書

山岸女史迎え

田中兩

福引當簽番號

三日午後九時四十五分被の列端鐵、同地方課長田中弘之兩氏職、同地方課長田中弘之兩氏

(大同公園にて)

満州國防婦女會では十五日午 後一時から日満軍人會館で來 京中の雑誌「婦人公論」社記 京中の雑誌「婦人公論」社記

本第一競馬(二、人〇〇米、 六頭) 於線美、1七四國二〇〇米、 第二競馬(二、〇〇〇米、 第二競馬(二、〇〇〇米、 第二競馬(二、〇〇〇米、 第二競馬(二、〇〇〇米、 第二競馬(二、〇〇〇米、

【奉天國通】協和會率天支部では補洲建國精神の實践ならでは補洲建國精神の實践なられて第一回率天協和陸上大部がに體育向上登展の為、十三日午前九時より國際運動場において第一回率天協和陸上大部がの運動日和に惠される。他好の運動日和に惠される。 春季第二次競馬

△八島小學校運動會

▲馬賽驅逐新案補切、本社宛

→馬賽驅逐新案補切、本社宛

→馬賽驅逐新案補切、本社宛

→馬賽爾方子

・00長頃の夕(東京) 

命

11

各份合會に於てそれん〜質施 新京聯合會に於てそれん〜質施 で編成各勤務の都合上各班に で編成各勤務の都合上各班に で編成各勤務の都合上各班に で編成各勤務の都合上各班に で編成各勤務の都台上各班に で編成各動務の都台上各班に で編成各動務の都台上各班に で編成各動務の都台上各班に で編成各動務の都台上各班に 本方、本行本月の訓練期日 がくその輪廓を決定、二、三 をなつた、右は大體都邑計畫 となつた、右は大體都邑計畫 となった。右は大體都邑計畫 延吉市も右委員會の 當辦見花お 口街長獨彭齡氏、 角停潤の氣分を示してゐた 理料御會遊園

漸く一道の光朗を得るに至 △第十一競馬(二、四〇〇米 

ودودود

●身はいつしかに難りのさなかに 一が出れば……誰か語らん!!!

る期待を乞ふる

新界

花形テルミ・

い情感のこもつたメロデ

◎待望……

0

歌姬.

來る!!!

ュ

京

務

登

五月八

本

坂

工學士

2

つたものである

奉天協和陸上

2 双葉、音第二美春、配當 一三七圓五〇、複1二二個 七〇、2一二圓、搖彩票1 七〇、2一二圓、搖彩票1 一七山六〇、3五四圓四 す(六月宝日)

御早

>

御申込み下

3

43

懲々人氣高潮開演迫る

神観覧券金拾圓也 [但し辨賞、座布團附]

ビール、サイダー、アイスクリーム等販辨當一人前二圓、一圓五十錢 ム等販賣致します 六町 七四

新京特別市五十嵐組が新海物 に開演を待ち詫びられてゐる に開演を待ち詫びられてゐる 一行は壽々木灣若、同登美 若、同重若、港家川柳、壽 本木富士若、木村正加、京 の米若、米若のよみものは ・大変青活等をである。 古田伽殿 ・大変青活等をである。 一年後のよみものは ・大変青活等をである。 「一日のは ・大変青活等をである。 「一日のは ・大変青活等をである。 「一日のは ・大変青活等をである。」 「一日のは ・大変青活等をである。」 「一日のは ・大変青活等をである。」 「一日のは ・大変青活等をである。」 「一日のは ・大変青活等をである。」 「一日のは ・大変青活等をである。」 「一日のは ・大変青活等をである。」

待遇改善

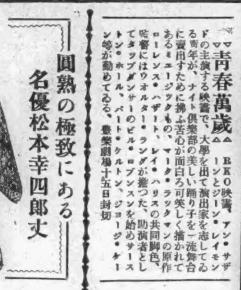
開演を待た

れてゐる

本紙に特別割引券刷込み

十四三日

局場コリリ洋 社倶 L X ビスト 合衆場所 行





玉寒屋杵 X

十五番の内 ・ 常盤 ・ 常盤 ・ 本 頃 ・ 本 頃

連連連葉中中外

鄭五桑川市

衛 衛 随 院 長 唄

幕壹

常常常常常

榮字

太太

喜喜常

太太太盤

夫夫夫夫

常盤維津



座今後は對極竹關係で相當も

溝口健二大船へ

鄭三吉崖

真為

幕壹

中

幕壹

八番の内

●一白の人 勝氣に任せて出 過ぎるは凶金談は徐に進め 乙と丙と坤が吉・

X 丞之賀多上尾 X

御目見得狂

民德沢廣



郎四幸本松

务三川市 X

本本川本川吉上川高三鯉錦 秋言郎 本川川平 染 五錦猿團幸賀染

郎吾藏吉七藏升

言 3

質 五

画を

す

3

週

間

美小 和松竹

太太"

蛛 极

同同大同小笛

圓の

處割引會

員券金

九黨

夫夫本

督監 クーアヴトリ・ルールトナア供提社畵映事商亞東 演主 ケトーリ・ーリハーイエヴーハ・ンアリリ ..語物 制 禁 人 女 の 娘 カ リ メ ア と 者 長 萬 百

**客監 ンリペルハ●ータクイヴ 畵映 奇怪作特社トツテイナュ** 

= ラベ・ヂツマーシゴ ?は謎む潜に城の奇怪の此城怖恐昧氣無にだく聞慄戰と異怪

のア國の乙春如ンの荒女後 と文野力き 映ア豪にチロ 畵ントゆユシ くーア りシの トなヤ片 イくの田 ンのも機舍 ンがその全貌を現はしたの「復活」に材を得てマムも悲しき實を結ぶ、これ極は、その後幾星霜シベ管に育まれた

主マア

演手

たムれべ

珠ウはり

玉リ救ヤ



アト特作監督供 丁復 ヤの活

階料平映日 午前十 時開

三十日七

五 H

ケたれか抱に然自大く輝に久悠 文るた々滔く深山のイキツタン 血流。てび延もにいこ。が手の化 築を和平に遂・も奥山るた見を 壯!!春のイキツタンケむ笑微き マロな的性男ぶ浮に色然天の麗

版本日作特超社べ



雄光色雄男地 性渾!畵

" deplie

に性女本日全て敢が男喜已瀨成と子かた江入 品作同合ロブ江入·L·O·P·作力の激感るげ棒 男喜已瀨成督監 • 子かた 江入 演主 子智藤伊•子蘭 澤•子鶴千田神•子佐眞堤



· 版本日作特超 OKB

ピロ・ルピ・ドンモイレンジ・ンマサ・ンア演主

保察者の横極的對策に委ねるは別に蹇拭機關を設置せず闘い。

鮮滿拓殖集團移民

**那および香港貿易概算左の知月中の對補糾閥、闖東州、変** 【東京関通】大献省競表―五

パルブ問題で

兩氏來滿

好成績で定着

農作物の發芽發育も良好

# 総指數は低落す

新京、奉天、哈爾濱で中銀調査

**↑ お歌の位置を見れば次表の如**○とせる奉天、哈爾濱市別の
・ 大に本月に於ける新京を一〇・

新京を一〇〇とせる指数 率天 哈爾濱 率天 哈爾濱

◆牡丹江工務段管内線路改良 工事 特命 一千百二十五山 組 土建ニュース

知事の證明左の如し(要旨)明同時にその內容を公表した

鑛工業の人の不足

業者裁量に委す

實業部の方針決定

本社丹江天安路外二路線型並 本社丹江天安路外二路線型並 落札 六千六百五十個 一部 市 難 設 局 本文人0000 草 場 組 一次人0000 草 一次人0000 華 一次一0000 華 一次人0000 華 一次人0000 華 一次一0000 華 一次一0000 華 一次一0000 華 一次一0000 華 一次一0000 華 一次一00000 華 一次一00000 華 一次一0000 華 一次一0000 華 一次一0000 華 一次一0000 華 一次一0000 

進出撃しく食事務所挑底の現れ日満鮮の商店會社等の新京れ日満鮮の商店會社等の新京

五月中に於ける

對滿支等貿易

ー前年より著しく増加ー

一九日正午 マスチドボンゴ ルカラ

三井 物産 オームラ ニニス留比 ベンゴール 一九九留比 ベンゴール 一九九留比 七月限 一弗〇六仙〇〇〇 七月限 一弗〇七仙八分七 七月限 一弗〇七仙八分七 七月限 一東〇七仙八分七 七月 八 一九九留比 1 二四宮比八分一

日開札六月十五

生立地道路樂造

▲大阪棉糸 寄付

各地商品市況

**福鐵地方部** ル十五風 大連保線區 大連保線區 大連保線區 大連保線區 村田 村田 梅吉 カー築造修膳 校屋根改造其 | マール | マ

商况欄 海外經濟電報

御靴 0 御相談所タケ 三笠町二番(四)五二三六 +

靴 店

室町二丁目公學校前(賴嚴ビル演例) ぶたまんぢゆら 澤利多賈(出前は最も迅速に) (3) 西シ 五ゴ

衛生、清潔 滋養美味 天下一品 ---o+ 2.50 女のまこと 化石の

新京主なジ 上尾

日近◇ オ奇の界人尺重開田福

11.50 4.10 8.50

朝 0

海 色 は 6.40 12-10 3-55 7.50

桃 は 色 1.40 6.15 3-13 7-48 9.10

店計時堂正大

香八五大大(3)話憶

### 公債不消化は 政府の愚策

不安を助長する藏相案

杏

BE

主演

料金珠下 一時より

选邦 男作品 一次 第二二 主

ンの傑作×ゲーリ

キヤロ

【大連國通】東邦パルア取締 被河村秀逸、維約支那県長倉 地四郎兩氏は東邦パルブと東 補パルブの合併明難につき補 大め十二日入港の快乗丸で来 ため十二日入港の快乗丸で来

◆阪神日米為替 東一本二片〇〇元 大澤向一九六個五〇 大澤向一九六個五〇 大海回五〇 大海回五〇 大海回五〇 大海回五〇 大海四分三 大海四分三 大海四分三 大海四分三 大海四分三 大海四分三 大海四分三 大海四分三 大海四分三 各地株式市況

金銀市況

**券品商 式株** 債公 融金利低並買賣 賣ル店

信用ヲ 九四通橋本日京新 番九六一四宫電

入麥醇田錠原原 入蔘精 電気 芸芸 橋木田 アマネニ 健康

日より十六日迄 料金 五十銭

電話的三五六番

刑京祝町二一日

で都キネ

映画御字 京内

日滿特急郵便

八月から毎日一往復

信省、日本

(H)

保健省

の構成

近く最後案決定

ンケラー女史

開拓の第一線に立つ玉川農民州農業移民先遺脈として北端

であると

第七次農業移民

十九日新京で講演會

女史に與へるやう地輪を整めべく群かにそして好印象

官房、七局、一外局を置く方針

星

【メキシュ・シテイ十三日登 トロッキー氏はト元師等手璽 にかけた赤軍幹部八名が一括 にかけた赤軍幹部八名が一括 を変しまり、大阪の観測はまさにス が、ソ聯邦へ名の處別はまさにス を変の事件で想像出来る最も である、スターリン氏は今 が、ソ聯邦の官僚政治が完 が、ソ聯邦の官僚政治が完 を変っなりが に政府内の官僚政治が完 を変っないへよう を変がな打撃を蒙つたといへ よう、今回の事件はソ聯體 といるよう を変がな対撃を蒙つたといる といるよう を変がな対撃を蒙つたといる といるよう を変がな対撃を蒙つたといる といるよう を変がな対象を を変がな対象を を変がながにある。 に政府内の官僚政治が完 を変がなが、 を変がなが、 を変がなが、 といる。 とい。 といる。 とい

十三日設園施」ト元 ロ・デ・イタリヤ紙は十三日の 車領袖の處剤に併言 紙上において辛辣なる筆致を 造制の自爆作用と冷 日く

でき 種域を振ぶり 静の の出来事だから里 邦内の出来事だから里 邦内の出来事だから里

赤軍の八將官は叛逆の廉で

三百名を選拔、置山に召集し 
新日満政治工作に從事する調 
新日満政治工作に從事する調 
新日満政治工作に從事する調 
がそとして活躍せしめる方針

事故●懐慘なるに鑑み▼総

るやうになった▼即ち朝

脳部の抗争が今回を強強である。

の自壊作

對日滿工作指導

訓練後は北支、満洲國に派遣

氏、藍衣社員を召集

▲亭尾伊之八氏(外務省)同▲島越逍廣氏(後野物産)同

た雷害の未然防止 た雷害の未然防止

▲松田稔氏(鑛菜)同 都未 水田稔氏(鲩菜)同 都未 水田稔氏(農菜)同

大擴紋波の件事謀陰

れてゐるとは極度

|打電してゐるが、航海中のソ情骼舶棄粗員や北極越年歐キヤンプ骚かたも相次いで判決支持の決議が送らば一齊に職場大會を開催し、最高法院特別法廷の判決を絕對支持する旨の決議文を採擇して續々モスクワに興奮し首都モスクワをはじめ極東、トランス・コーカサス、中央アジア等全國各地の工場、農村、商店ワ十三日設國通】トハチエフスキー元帥以下八名の赤軍首臘部に對する死刑宣告の愛表によりソ聯邦全國ワ十三日設國通】トハチエフスキー元帥以下八名の赤軍首臘部に對する死刑宣告の愛表によりソ聯邦全國

往來

語應典

黨再建設論起る

トロツキ

政府の林區整理

は、 としての木材を自語自足する 響陣地を構築中であると でるも滿鐘が森林を所有する 中旬来一部を原駐地に残し、 のは多く既得權益に騙し、且 主力は黄河流域地區に出動し のは多く既得權益に騙し、且 主力は黄河流域地區に出動し であると としての木材を自語自足する 響陣地を構築中であると としての木材を自語自足する 響陣地を構築中であると

決定

施洲國政府では

ら覆へされ赤軍の實力は数 い事實である

同じく内務人民委員部のプロトコフ氏も逮捕された複線である。 中長官ヤゴータ氏の右腕として辣腕を振つた人口スラフ縣共産黨書記長に左遷した、アグラーノフ氏は前ゲ・ベ・中長官ヤゴータ氏の右腕として辣腕を振つた人氏を解職しウオルガ地方サラト縣の閉職に左遷、また遷信人民委員部大長エヌ・エヌ・テイミウ氏の現職を解任ヤ目の焦點となつてゐるが、常地に達した報道によれば、ソ聯政府は十三日內務人民委員長ジエ・エス・アグラーノフ目の焦點となつてゐるが、常地に達した報道によれば、ソ聯政府は十三日內務人民委員長ジエ・エス・アグラーノフ目の焦點となつてゐるが、常地に達した報道によれば、ソ聯政府は十三日歿國通』ドハチエフスキー元帥以下赤軍首腦部八將官の陰謀事件餘波は何處まで擴大するか成行は往

コフ氏も逮捕さる

課

介鄧忠〇五社

館高產練習船

師の庭刑にドイツは異常な聞、アカ西海岸オツ軍の領袖トハチエフスキー元 智船忍道丸は十四日婆園通)赤 報によれば、原

of D. N.

では有名であり、かつドイッとは 有名であり、かつドイッ像ひ は有名であり、かつドイッ像ひ は有名であり、かつドイッ に陥り將來は不安を免かれに陥り將來は不安を免かれ

ショフ元帥もその一人だら が大民委員ウオロ が大民委員ウオロ では、 ドイツは歌州の新安全體 
「帰帰、バルガン各別との連 の盟邦闘係、ドイツは歌州の新安全體 
「中国、バルガン各別との連 の盟邦闘係、ドイツとイタ 
「中国との連 の盟邦闘係、ドイツとイタ 
「中国との連 の盟邦闘係、ドイツとイタ 
「中国との連 の盟邦闘係、 
「中国との連

一聯に不法抑留さる

井氏七月來滿

ント

のため七十七歳の老軀を保

マツバラ西北方九 犯を口にしてゐるが、大垣船 する筈である 「一日朝カムチャーソ聯常局は例によつて領海侵 (眞相調査の上殿重抗議を提出 「雷地に達した情」選の沖台に差かゝつた際、ソ 長以下は引致された旨謡係方

英語學者の村

**盛列車で赴任に決し十四日暇** 「権文郎氏に十八日午前十時 「職工省派安縣公署参事官大綱

品野藝僧天下

田勇陶渡溝の途につき、田勇陶渡溝の途につき、田野隆大学と野野蔵新田学校十時半上野野蔵新田学は ●農告の御用命は!!電話三、三三〇〇番へ●

大瀬戸參申官

年中無休 夜間診療 医學生 松村養雄 ● 本 松村養雄 ● 産婦人科 ● レン 選挙 要単 古川 直 要単博士 深圳懇待

(3)三四一二番

謝恩特價大賣出

打合せのため十五日午前七時消鐵理事佐藤應次郎氏は事務

佐藤理事來京

期間六月十日より三十日まで 三フ 三十圓』

家具の店 木村桐タン

電(3)四三三四說町太子堂隣

誇る

ある全新京の夜景を俯瞰して新線の國都を又月ありネオン 美観云はん様なし! 其他の 浪用 て 難き ●◎三八年 花

第三一六六四六番

院室完備 藍話受付 院長 醫學博

領事(ポートランド) ・ 新省東亜開長 ・ 外務省東亜開長 ・ 小務省東亜開長 京聞迎)外務省辭合(十 

際自體の政治

界的發展生産力擴充に伴ふエー(東京調通)わが工業界の世

大生機能の現象は從來高等師 総終了者で不足のところを、 各大學出の工學士、高等工業 一類の教論が重輕工業科學構造 の液に乘つて、どしどし好量 か起つた現象で特に數學機當 か起つた現象で特に數學機當

駆對策に腐心してゐる

故山田博士に

【東京関通】畏きあたり

幣帛御下賜

で意見の對立を生じ、

新規定を加

滿洲國商法完成

今次の

来る八月二日より一週間東京 本る八月二日より一週間東京

滿鐵代表決定 全國教育會議

軍需工業躍進で

中等學校の先生饑饉

どしどし會社工場に移動

黨を行ふ必要が即ば

本の 一、商人通法 一、商人通法

四日午前十一時宮中表御座所四日午前十一時宮中表御座所四日午前十一時宮中表御座所

を撃行こふに関東州のを打つ を撃行こふに関東州のを打つ を撃行こふに関東州のを打つ を撃行こふに関東州のを打つ を撃行こふに関東州をして 関山要塞、前田要港部兩司 令官以下多数出席して結成式 を撃行こふに関東州内を打つ

閣議決定事項

の件の件等権給令中政正

蓮沼師團長

關東州聯合防護團

十四日結成さる

團長に御影池長官

(3

社

說

郵政儲金利

日から實施

あらせられた、なほ郡巌は十 あらせられた、なほ郡巌は十 で執行される

な事件が惹起されるの 利率を現行より普通儲金六層イ代に即應するため郵政儲金の機会の低金利時

局談を**設表した** り實施すること」なつた 四分八厘と決定、その後一一二年五月制度創設に當り年郵政儲金の現行利率は大同

方、据置儲金を年四分二厘、据置储金を年四分四厘一毛とするに決定、十四日の國務院會設に上程可決したので多識府の諮詢を經て來る七月一日よ

- 交通部當局談發表

ヒ総統を訪問

大同二年 人員 二次 金額 100 50 0

大同二年 人員 二、000人 御機嫌を牽伺した、なほ同園 世行 の通である、郵政艦金開始以 間に率答の後御前を退下、引 関 今年末には一千萬圓を累増し、 謀總長宮殿下、杉山陸相侍立 の 所に軍狀を奏上、種々御下 の通である。 郵政艦金開始以 間に率答の後御前を退下、引 回 下の通である の下に軍狀を奏上、種々御下 の通である の下に軍狀を奏上、種々御下 の通である の下に軍狀を奏上、種々御下 の通である。 1000人

一時建沼師園長は幕僚を帶同 美侍從武官長同席にて賜餐あ 美侍從武官長同席にて賜餐あ

大人追放さる 大人追放さる 後二時間にわたつて會談した年後ベルヒテスガーデンの山東にヒトラー總統を訪問、前

トヴィノフ氏

新京、哈爾 三日にわた をなす筈

三十七名をはじめ全國四百餘 出し、満人學生の日本留學想 出し、満人學生の日本留學想 である、なほ試驗課目は國民 である、なほ試驗課目は國民 可述試驗および身體檢查で、 受驗答案は廿日までに全部文 十二ヶ所において零行された の入學試験は十四日、十五日 の兩日に亘つて全國一齊に省 公署および特別市公署所在地 

**病州國における治外法権撤廢** 【東京國通】長島司法次官は 長島司法次官

**膵袋三週間の豫定で被滿する** のため十四日午後十一時東京 のため十四日午後十一時東京

【足柄艦上にて十三日酸國通 ・サイドを出港、スエズ運河 を通過して酷黙の紅海へ入つ た、十日の後廿三日セイロン た、十日の後廿三日セイロン た、十日の後廿三日セイロン こと」なった 足柄ボー イドに入港

でも誠に喜ばしいことであるが教育上捨て置けぬとあつて、「一葉増設、二部教育制等を考れ、高等を設定しいことである」



**座業部協議** 役し、職員生徒という。

市世田ケ谷區砧にあるわかも を青年學校を訪ね、講堂に於 と青年學校を訪ね、講堂に於 と青年學校観察 旺剳公使天城代 直ちに首都カイ ノナ 高カレライイ甲

近く閣議に提出 鮮魚小賣相場 六二元枚六年四、01年、四年

参與會議に附

形交換高(十二)

(短期)

満した、一行は十五日午後十 奈田福市氏以下十名は十四日 奈田福市氏以下十名は十四日 奈田福市氏以下十名は十四日 で來

(短期)

廣島商議視祭團

一志一六分五

度く伏して御願申上げます 弊店儀毎度格別の御愛顧を賜り誠に有 事になりましたから倍舊の御引立を賜り 装の爲休業中の處漸く諸設備も完備致し 初夏の候皆々様には益々御清榮 の御事で御喜び申上げます扨て ましたので近日より開店致す 難ふ存じます就きましては今般室内吹 御 挨 拶 者は本人來談 蔵より州 歲位

は は さる 多く の 新版 と さる 多く の 新版 と さる 多く の 新版 と て 従来 来の法律に

古 満州関政府は十四日の閣構に 最近前事生活 大小切手法および海商法を せざる新現象になったが、さきに公布され 底これに追随 たれの事法と ない實情にあた、満州関政府は十四日の閣構に 最近前事生活

一、商人通法 日本の高法の徳則に該當し、又滿所既現行機用法規の商人通 例に當るもので、商法全體例に當るもので、商法全體 例に當るもので、商法全體 の通則的規定を網羅してる る、而して商法立法につい と首待為を中心とするこつ では商行為を中心とするこつ のも、一次 では商行為を中心とするこつ

今月中に公布の運び

でも會社としたで、選送法 日本の商行会中に規定されてある電漫響と運送取扱繁要の兩者響と運送取扱の兩者 

無味して作成した を終金し、而して園 ないて統約により統 は、では、のして園

min Dilli

nun

**洲國卓球軍** 

全の

1316 8 1211

13119 9 111111 11181110 7

高 2

太田

全1

7 5 8 11

1111118

內地遠征戰通信(二)

| | 子子より太田選手も| 朝早く安東着同地より清水選 || | お途に上ることになり接に就く。 | り接に就く。

に亘つて機能

た、水田作は播種期が早過ぎた、水田作は播種期が早過ぎた、水田作は播種期が早過ぎ

力は増進す

工場が経營されてゐるが本年一農工具製造、修繕並に耕牛馬

果で一同元氣御互に

のータクラトる於に村民移て河連哈 [寫 眞]

場羊嗣と(右)轉潭

建築に使用すべき触瓦製造の ため窯菜班を組織し、満人經 放着を使用して窯出しを行っ たが、燃料石炭の鐵道輸送に 支障を生じ意の如く作業進ま ず、昭和十一年度は計餐数量 四十声個に對し廿二萬個を機 上げたに過ぎなかつた、本年

日醫味

日下醸造工場を新築中で

三 1 00 米原

小麥

三、二是啊 三元石00 三石五0

防護團結成

防護」図結成 に大連関通」さき 関内市、決連、旅 順内市、大連、旅 順内市、大連、旅 の が が でみた關東州 お成をみた關東州

本年三月末まで

料

野犬の遠吹

館に改造したも

そのかみの賭博場を

哈達河

移民地視察記

心臓の鼓動が

発りを止めるのみである。 なしにゲベウは

「た早鴨の夢を、ソ聯軍用機の の出現に驚いた水鳥がパット 視しつょ執物にどを早鴨の夢を、ソ聯軍用機の の出現に驚いた水鳥がパット 視しつょ執物にどを自動でに選ばれて廿五日夕刻虎 話題を乗せて、虞紅なソ聯領 コルホーズとソ聯係であた。 本ける、虎林を愛つてもの おして知られてみた虎林も今や よける、虎林を愛つてもの 湖に三時間にして短のれてみた虎林も今や よける、虎林を愛つてもの 湖畔までウスリーと て知られてみた虎林も今や よける、虎林を愛つてもの 湖畔までウスリーと (瀬の建物に、僅かに往時の名 木の山も濕地も荒地おかまい 内に逃亡するのを動の建物に、僅かに往時の名 木の山も濕地も荒地おかまい 内に逃亡するのを から がりを止めるのみである。 なしにゲベウは いまい 八に逃亡するのを とく 淋れ果て、店頭に散見す サケル はこれ等の人 を はこれ等の人を が はこれを はこれ等の人を が はいまい といました といまない とい 

殿電な監視を続けてゐるのだ。 対はこれ等の人々が満洲國領土 内に逃亡するのを極度に虞れ のに逃亡するのを極度に虞れ

山の堅固な要塞 (三)被河中荒。

呼の間

1 -

を言つたアンドレ・ジイドの を言ったアンドレ・ジイドの を表が吾々の限前をかすめる。 を表が吾々の限前をかすめる。 を表が一隻と遭遇した、重機闘 から鋭い監視の限が吾々の汽

を信じこませるために いからしたことは細心 との凡ゆる装鯛を妨 との凡ゆる装鯛を妨 いい ゴこの 関の人間も 泥濘風景

境

夕

ジル

ユ

止むなきに至った、 因に十一 町歩はこれがため放耕するの ○お天氣の良い時二人々は忘れてゐるのであらう。轄然とひらけた空地にこゝろもとひらがるやうな氣持で眺めひろがるやうな氣持で眺め だが一旦、雨ともなれば、

君干を建築した、その棟敷左 一部の圏員の家族召致を可能 とり昭和十一年度においては とり昭和十一年度においては

一、〇〇〇 國を要してゐる 一、〇〇〇 國を要してゐる 本部關係諸事業

労力を排し、もつばら自家勞 が高飼料を自給自足する方針 をとり農耕の余剰勞力を各種 をとり農耕の余剰勞力を各種

昭和十一年度は

語自足に就ては、ほぶその目 の生質充分であつたので、最 の生質充分であったので、最 の生質充分であったので、最

羊三百頭を飼養 する外馬政局よ たる種馬二頭、

市内有名楽店にあり

散

番

制新国州溝

だけ利用して他から成るべくにするため、農間期を出来るにするため、農間期を出来る 馬も泥とたゝかひ、自動車 が大町との間に出來た理 をはまでつづく泥潭ぞル…そ んな歌でもうなつてみたら なな歌でもうなつてみたら なな歌でもうなつてみたら

材料の配給なら が楽し、機械類 が楽し、機械類

151111



御好みの新型でとても廉價に

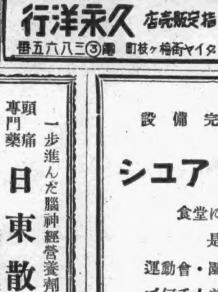
赤

木

世話三十六九三三七三番







食堂に一・喫茶店に一・カフェーに一

是非々々御利用下さい 運動會・園遊會ベザー等には輕便な紙カツブ入 て何千人前でも御注文に應じます

新京製水凍菓部 [ (2) 2 3 7 1









H)

眠つてゐるのを

起して迄

上げませうへ以下

ではないのです

千守明研究家坊田鎮察氏

るぞ(廣島地方) れた坊やも泣く

ので、例へば 切やは好い子だねらねしな この子の可愛さ限りない 山で木の敷草の敷 天へ昇つて星の敷

○經濟市況 (大連・新

わびしき想ひに

旅の空の

さ彼方に 心迷ふれる 杜の木ずゑ

(以下

トの子守唄

偃

位までは三時間乃至

でよろこび、食物も 質のものを欲しがり、 い食べて居りますと手 か

学を 子守唄といふものは、その性り、 眠らせる様なものでなければり、 眠らせる様なものでなければ見え く夢の様な感じのもので、 歌見え く夢の様な感じのもので、 歌見え く夢の様な感じのもので、 歌見え くかった子にはからいふ福音 く眠つた子にはからいふ福音 でに なからいな報いがある

ねんねせん子に縞のべべ の扱いべべ着せて (阿波)

に多いのは母親の 子に對する愛情慈 愛の心を歌つたも

・ 五九時 報へ東京) ・ ○ ○ ○ ○ 五晝の演戲 ・ ○ ○ ○ ○ 五晝の演戲 ・ ○ ○ ○ ○ ○ 五晝の演戲

ピアノ伴奏張起淑

夢もやぶれ

新そら豆皮つき

の軟らか煮

ら豆

旅愁

起きて泣く子に石七つ (同上)

四〇經濟市況(東京)

火》

《十一年四月三日生れ》 大女である。(姉一人) 大年前結婚。三保子さんは 大年前結婚。三保子さんは 大年前結婚。三保子さんは

ずニ、

でネー、その秘訣を一つ伺ひ施石小兒科の専門だけに育て

るから家内の話が却っ

,守唄が効果的

音樂を喜び初め

3

九、二〇経済市市 八、二〇経済市市 八、二〇経済市市 八、二〇経済市市 一、三〇経済市市 一、三〇経済市市 一、三〇経済市市 一、三〇経済市市 一、三〇経済市市 一、三〇経済市市 一、三〇経済市市 一、三〇経済市市 一、三〇経済市市 一、三〇経済市市

圧後六ケ月目が

3

八、〇〇紀蒙通報 (大連)
一〇、〇〇紀蒙通報 (大連)
一〇、二〇料理献立 (大連)
一〇、二〇料理献立 (大連)
一〇、四〇経済市況 (大連)

讃頌

顔合せ

【材料】(五人前)】 蓮 根 太いるの 挽 肉 ニ

升片 两根

はさみ揚げ

挽肉と蓮根の

赤ちやん十二ケ月

(六)

ふの番組

十五日(火曜日)

六

三、四〇經濟市記 (東京) 岩 (新) 出、三〇二二十末 (東京) 岩 (新)

人が患者さんに異へ

家庭は世に多數の實例がある。



## ても親の育見法をあやまつて取返しのつかね不幸を

ス和へ 2

理獻立

詞より

中鳥記者)

すが、 滿一歳まで すが、満一歳まで

での赤ちゃ

にあげて愛見を持つお母様方の参考に供する。した赤ちやんを持たれる各家庭に聞いた々赤ち 優良兒。家庭訪問 育て方々の秘訣をこゝの「最優良見」に入選

地番二十目丁一町盤常京新 んさ子保三田太

日光に當てたものです。 先生は言葉を添へて いへばこれ位の處で御座いれ位は普通でせうけど秘訣りにしておりました。まありにしておりました。まありには普通でせうけど秘訣

三回は外で抱つこして一悪い。それと日本の疊は不衛っどんな寒い日でも必ら ないよ、厚着させるのが一番れに睡眠を翻ること以外には 本空 版上人生る(寶鶴五年) 本 山 鹿素行 赦免 さる (延寶 三年) 本 遺 隋 健 小 野 妹 子 雑 波 に 儲 着 (推 古 天 皇 六 年) 本 準 太 廳 の 閉 廳 式 (明 治 四 十 年)



54020

白鳥膏質別部員

佃まつり

曜(東京) 「塚 加藤直四郎 「本 謙郎

こ、とう場げ

皮つきそら豆

イ作曲

お辨當向の

挽肉と蓮根の

連續講演(十三)

オ随筆

の軟らか煮の軟らか煮

四、三〇經濟

ニューヴ河の猫 温藤合唱(大阪) 一般を 一般室 藤馬

季節料理

品錄登案新

をゆるめに拵らへて和へますは小さく切り、別に白ソース 和へます

和へに致しますのも美味しり 先きを變へまして、白ツト 一大大十三 也 上 上 上 上 上 上 一 杯 不



獨

松室藤馬

教養部門內職內

7

大の感傷は昇華する。 大の感傷は昇華する。 大の感傷は昇華する。

4

来得れば

から田

態に寝かすより

木から各地に長くいるのにこれは何

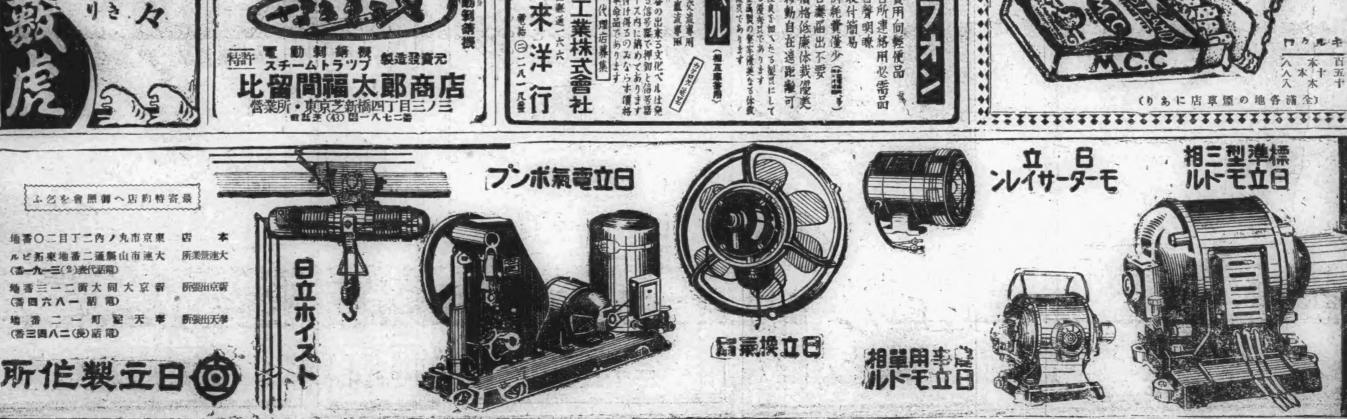
使用したらなほよいね。紫外も赤ちゃんを持たれるお母様によく當てること。以上のも赤ちゃんを持たれるお母様

777洋森

した事あり、その力領は試験 の「新人英集」に常邀、旅送 遊療不山さんは第一回、二回 一、多夜讀書(背茶山)

が期待されよう。 (寫眞は砂 が期待されよう。 (寫眞は砂





### な

少し申上げて見ませら

(色で)

健康に よ 1.

紫外線ごの關係

でも日光中紫外線の量の一 我々のから 受けるのに、 受ける葉外線の量は多いと はだかで直射さ

いシワの中など、はだかでは された光があたるからなので された光があたるからなので された光があたるからなので された光があたるからなので まれてゐるのでからいふこと は翻合に無頓着で、從つてさ 行はれてゐなかつたわけでせ ではれてゐなかったわけでせ

赤八六、黄八五、青八〇、紫 して通す量の比較は、白九〇 機のものと

ゼル三、九二

100 ヤ五九、三〇 ふるさ 故郷の家 なつかし



競演 ▽ 廻

「材料」(五人前) 味噌つきつ

豆をまづ重曹をとかした湯で 煮、これをこぼして新らしい 水で煮てから砂糖、鹽で味を 三、茄子の油焼き 茶匙山盛一杯 類種 どかばやき K



子少々宛

。 満洲後鑑界に芽吹いた種子四つ、時間するに週光等、松宝藤馬原氏はその多詩吟の遠藤不山氏は三回連續富選、戦

根の薄い輪切の間に挽肉

油又はラード

具今はいたみ易くてお辨當のお菜に一番お困りの事でござお辨當向きに少しもつお料理

文化工業株式會社 八个

女房三使が言い.

新京神社献詠歌

吹きのこりたるあはれひとも 優みる人にもしれず山かげに 優 藤 京

震撃 製画鑛床 説明調査、其他 三利鑛業社

音別タイプ (学 合教授 日本タイプ (学 合教授 新京新發路へ帝都キネッ節 著名タイプライター端

キャル前)

安心散

さすごと咲きおくれたる選纓

帳簿事門 三省堂製本所

タイピフ

へト 生徒・

派遣と募集

似は

公認

#11101111

道典三里

文章について

春蘭けて楊光うらゝに鞭へる 公園の芝生は新芽ふきゐる 後 藤 京

はや道の面に草はめぶけり遠山に雪はまばらに残れども

あつめ神の海底にさくら咲きあつめ神の海底にさくら咲き

のうら若草はまだ二葉なり 機部よし子

**斎庭の櫻ほころびにけり** 下村 恒遠

人を雇はれるなら

押タロマ火

うらめづらしく運像唉く 初夏の山路をゆけば岩かげに 茂島 隆茂

男女を開はず 東三馬路線電源下東三馬路線電源でとうものは本會へ

高 東三條交番前 東三條交番前 東三條交番前 東三條交番前 東三條交番前 東三條交番前

· 大条

けなく土俵外に飛されて了ひた。 ない、句想の古味が要像の数量の差如何にせん素直に 変きか、つて來た三休關では 変きか、つて來た三休關では 変きか、つて來た三休關では 変きか、つて來た三休關では 変きか、つて來た三休關では 変きが、句想の古味が攻撃 ならず、三柳關の ない。

たが、彼は面映ゆい表情で、 たんなこと、と言つた。

(砂汀)

川柳を造れば忘れた字が

月雨へ柳素値に垂れ

はた。 はた。 なが情熱に火がつくのである。愛 いどで繋くときだけ、三枝の と笑つた。肉身の妹をそんなが情熱に火がつくのである。愛 したが情熱に火がつくのである。愛 したが情熱に火がつくのである。愛 したで表情になれず、書間 これは滑稽な芝居だと非り、私を間誤つかせた程である。 を実力を愛った性質だといふ の相高い女より、この方がい の相高い女より、この方がい のに気疹の性に合つてるて、のは宮坂が私に同情してゐる はた。 に、一次がいるのであつ。 であらら。だから、三枝 になが、変しまが私に同情してゐる であるのであっ。 であらら。だから、三枝 のことなら、あることないこ はた。 たが、後は面映ゆい表情で、 パンフレット「飛翔」に女房

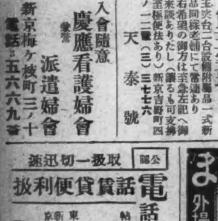
を指摘して込た。 ・ 見出される。これらの難解文章 ・ 見出される。これらの難解文章 ではあるまい。彼等の大學秀才型 等にそんな文章力をしか與へなか よろしく論文執筆者諸君は自分の よろしく論文執筆者諸君は自分の とっして見ても 大衆にも理解させるやうな文章を ある。古来のすぐれた作家たちが の雑誌論交の文章が離職であるこ

草を書く事を稽古すべきで 才型的な勉強の結果が、彼 才型的な勉強の結果が、彼 なかつたのだと思はれる。 なかったのだと思ばれる。

でつ薬の面の常間にもゆるひとつふ

遠江登志失

















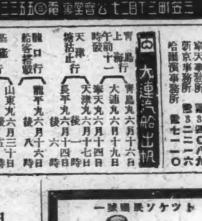


凹

プランンなは持に迅速可等修理はサービス ーラグ篠崎商舎 \*京 田道三山田道三山 五 四 四

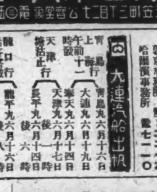
(1)

**賭書類作成日滿鮮通譯** 日滿民刑事訴託顧問及 辯護士黑田實法律事務 端定貨家貨地管理

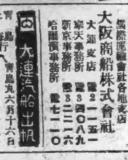




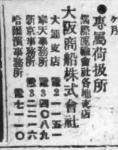


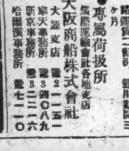


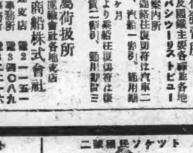
No. 3 2 6 6 10 9 V 豆味付 20 0 W.1 25 V 通信省型式承認審験 7 - 0 4 9 4 (マーツライト 製)







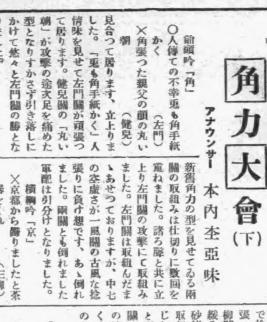












○本當の景氣を見せて社宅 確え (三休) 大京都から勝りましたと茶 といれて京人形の類を 様で は見物の拍手の中に迎へ られました。任切り直しも時 情調の賞録を供へた兩關の取り がかよりました。感々立上 は見物の拍手の中に迎へ を行りり直しも時 は見物の拍手の中に迎へ を行った。 と三柳嗣を押しました。三柳嗣の負けとなりました。三柳嗣の負けとなりました。三柳嗣の負けとなりました。三柳嗣の負けとなりました。三柳田の負けとなりました。三柳田の負けとなりました。三柳田の負けとなりました。三柳田の負けとなりました。三柳田の負けとなりました。三柳田の負けとなりました。三柳田の負けとなりました。

打ち出し午後六時五十分。閉

**臨めるやうな感動で、自分がかといふ氣がした。何か目がかといふ氣がした。何か目がた。すると、三枝はまだく 效の心細さはしみじみと判ついて徒食してゐる私と雖も三さし、ろくでもない原稿を書ので、私はその都度、とぎま** なく神の徹底をまる

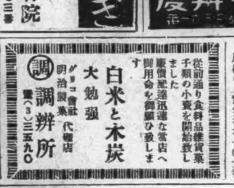
はれたがマ今やこの報法は、カメラとが はなろまつて「旅行満洲」の が無用者は、カメラとが とともにこの雑誌の職法 とともにこの雑誌の職場 とともにこの雑誌の職場 稿を催促原 大は神垣たかく社守れり 大は神垣たかく社守れり

水人 水戦の人は男女をさい。各方面に渡つて廣く人は身女を 千昌紹介業 23三四三八谷

三方自共

末松接骨院





各一般女中及院時女中、看護師、女給仕、女店員、女事務員、タイピス大は個主及木職者は至急申込れたし

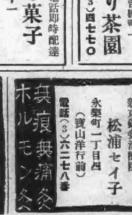














七六二 六(8) 電

日案內

新茶

▲金融即時長期稱

みどり

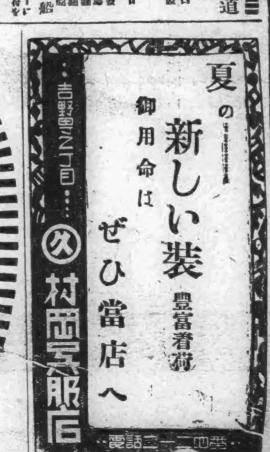






Charles Street, Street 







した宮坂啓吉を憧むのであるところがあつて、冗談に紛らた。そんな三枝の顔にはられた。そんな三枝の顔にはられて、私を煽てゝ書か 仰ぐは神のみいづなりけり君が代の代々木の宮の大鳥居

なのづから頭下りぬ大鳥居くなれば直にみるづおぼへて水神のすまひ給ふと岩むろに水神のすまひ給ふと岩むろに赤き鳥居のかげうつしけり強とつひとつ鳥居をくょり腹前に進めは心すかしくなれりひむかしにむかぶ鳥居の間よりから紅ひに朝日のぼれり ぎみる代々木の宮の大鳥居か く見ゆる鳥居はうぶすなにし 形が 恒遠

女斯コンロード

大和運輸用を出町九八二

簡易宿泊所 (三) ・七五〇書 (三) ・七五〇書

新京通信祉

ていくつ鳥居の奥にますらむ 井田 康子 む腹前高く立てるこまいね 奈井 良太郎

京集 外交員及び 旧者見れ面會日通知すれ面會日通知す

のに、泣いたり属しつたりするときの三枝には三十女の度 をしたこともないのを、妙な ところで信用するのだが、戀 ところで信用するのだが、戀 ところで信用するのだが、戀

▲ こま犬

サック 悪化し易く用 寄京性の百貨店

八五〇九党

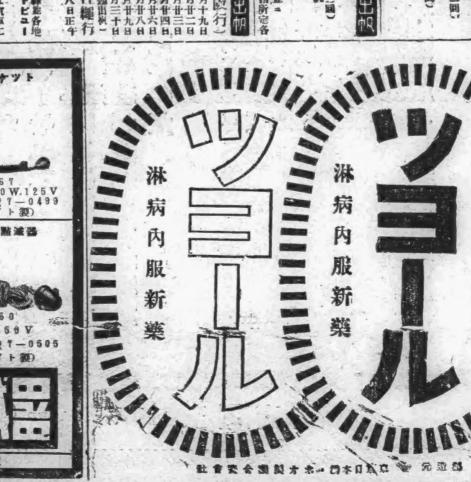
がは、C女子専門)の がイヤ貨権を技術ーノー四 が都職業紹介所へ

新津酸後五時 ・ハノ日出帆 ・ハノ日出帆 ・ハノ日出帆 ・ハノ日出帆

●さいべり中か 毎・六ノウー 選出放送 北日本汽船出帜

マ金で





たら聞かない、恐りつぼい、物に怯える。

お母様にも責任

任でせらか。

ら受け継いだもので、環境とは邪から調べて見なければなりません

割さんの責任だ

聞

は是非敗めたいものです

☆・・麻疹や百日咳が流行

が兄の可憐な生命を使むハシカ

でせる。消化不良位と軽く見る書

能に消化不良であると言はれます この戦慄的数字の裏には、いかに

我國高い點で世界有數で

굒

神經質な子に

誰がする?

又經過中に肺炎や暗膜炎等を起し

ることは非常なくのです。

悪い子は色々な合作物を健し影がて一般に際はることも様でありま

りますから此際元分の御仕草をな さらなければなりません。

大體

からは悪に増加の形勢を示して居

生命の危険に削するのです。

の幼児は消化不良を起して、乳を

書便を出す、下痢を起す等

殿は難り、消化がは数へて来ま

君葉の色が日増しに渡くなって

# 乳兒を警戒せよ

吐乳と下痢に御注意のこと

不良の季節

七二番です

因に宇津教命丸の薬慣は二十日

斯様 に指心で表示としては、野乳房は規脈茂しいた。 機能または一郎の呼乳時間を減ら 大型合の側部手間と は、野乳房は規脈茂しいた。 所謂中毒症に陥ります。

ったり、東京は盛く、『歌いかえと の便は脂肪で消化便で、除はどろっまと聞いたり、下卵を越します。そ たのです。人工祭業がは反転に動物しているです。人工祭業がはないのが多い んと蘇重が減少して、消費量に 不良の豪助または治療法としてはます。この場合治療を融ると、ど とが第一番で、家庭で出來る消化ます。この場合治療を融ると、ど とが第一番で、家庭で出來る消化 ある歌色水梯便を捜します。映画 または心臓や眼を置して一部から定所のある宇津教命丸のや

幼き命を蝕む を行ふのですが、人工祭養兒はさ

AN ENGLISHED CONTRACTOR OF THE CONTRACTOR OF THE

(六)

機能そのものを大夫にする作用が 不良を未然に防むま 與へになりますと、惟ろしい消化 ない小児業で、難に演化不良や 宇津教命鬼は郷和南楽

する

D

太

刀。ば

外

ふ癖を 指を吸 治せ!

んに推奨せらるる

東郷生活は流行性服 東郷生活は流行性服 る所以です。 は眼を疲らせ眼疾の流行に描 ないれてよる触眼工作が旺 の疲労を去り、

っることは非常なもの

脱神経の疲勞を回復します。 服を骸使することは非常

思科樂スマイルはこの必然の要求によって、 原科樂スマイルはこの必然の要求によって、 原子なる殺菌、消毒、鎮痛、消炎の各 作用によって、 強烈な外光から眼を護り、 る眼の充血疲勞を除去します。 る眼の充血疲勞を除去します。 る眼の充血疲勞を除去します。 奏効するのであります

觸ださ を使ふば ものだ。 否否! でなかつ てゐる!それでよ H しよう! だのに近代 たら不思議 にてそは正 かりで保護 が與へられねばな は忘れ か? 人は位は 接。

〈定價〉二十五錢・四十五錢

薬店・百貨店薦品部にあり

醫學博士中村 榮·仁藤隆作兩先生 推獎

State and and a land and a land and a land and a land a land and a land a land and a land a land and a land a

を共に、悪い病気の依拠を励いです。 を対して、悪い病気の依拠を配悪に事べ を対して、悪い病気を配悪に事べ

なべきにするが原教として定済る

家庭でのお手掌としては乳

置玉 社會式株 wx · fix 店商

がリスを見るが良い。これは がリスを見るが良い。これは がリスを見るが良い。これは がリスを見るが良い。これは

一つの國家でさへあることが 言へるのだ。さうした自由市 言へるのだ。さうした自由市 の形態は、今日に於ても、ョし 事別の各地に建つてるる。 整備の都パリにしても、その 形態を持つ一つの都市である かうした自由市の持つ固有の かっした自由市の持つ固有の がまな、その都市の周囲に披

日本の対象を中心とし たづ都市の中央 位置に、大名はお 大名はお

を中心と

て、さうした非常に興味深

達を考へて見るがいいだろ

計出

|美術)に就い

Ш

M

郎

なければならない。これは市なければならない。これは市ないの自由を中心にしてゐるからであつて、この自由を保つために要塞の形態をとつた都でを作り軍職をこの放壁の面に置くことを忘れない。城門になっている。

を保つてゐる。市民たちは完 の監督下と置かれてゐる。 こ の や うに 一 関の 都市の 發展と 言ふものは、 その 政治狀態や 民族性 や 様々な 文化的な 状勢 た に よつて、 決定されて行くも こ のであると 言ふことが 出來る

保つてゐる。市民たちは完

と自由を国守するためには、その都市の防備を完全に行ければならない。これは市ないであって、この自由を保つらであって、この自由を保つらであって、この自由を保つらない。

ヴアニスム(都市

(日

語解、證明をうけ館場計つて せの靈場財用多罪に適消したが、十四日午 の近くし

とながら語る 子供は六十一を頭に男二名 子供は六十一を頭に側をなるのがはがゆくて、今度これも陸軍の喰ひつぶしたものかどれるのがはがゆくて、今度こるのがはがゆくて、今度こるのがはがゆくて、今度これをであるのがはがゆくて、今度これをであるのがはがゆくて、今度に

のんを宿に訪べば合掌

高州國の産業五ヶ年計畫によ の秀簡界は頓に活況を呈し一 大内地かちの漫然渡滿者が激 新京に於ても、滿線職業紹介所と 人三百廿二に對し求職者七十 入うち就職したもの目給三十 大方ち就職したもの目給三十 で云へば日給最高二國最低一

0

からある荷物を背負つて草鞋 に菅笠、金剛杖で白衣の遍路 野園防婦人會支部長、赤木木 部員等に迎へられて一まづ罪 が高士屋旅館に旅装を解いた

### 四ケ月の視察旅行を終へ 日信用に平 對滿認識は 珍らし で維維大橋次長歸京談

職進滿洲國の將來を誤りなき 洲の國際政情を實地に見聞十 迎 「本為には大陸の一隅に賜せき 理外各大臣、星野總務廳長官 を確固不動の外交園策に依ら 和ばならぬとその重要便命を 帶びて去る二月上旬歐洲各園 神祭に赴いた大橋外交部次長 本で個石、動の外交園策に依ら の視察に赴いた大橋外交部次長 本で、大橋外交部次長 本で、大橋外交部次長 本た、大橋外交部次長 本た、大橋外交部次及職等の の大橋さんに期待するとして を受したとれるかそれは今後 本た、大橋外交部次長 本た、大橋外交部次長 本た、大橋外交部次長 本た、大橋外交部次長 本た、大橋外交部次長 本た、大橋外交部次長 を変したともいった具 を変したともいった具 を変したともいった具 を変したともいった具 を変したともいった具 を変したともいった具 を変した。 本た、大橋外交部次長 を変した。 を変した。 を変した。 本た、大橋外交部次長 を変した。 を変した。

匪賊の二:三人

餘世を樂しむなど心得違ひこ

ける元氣

の荷物の中には野宿に必要な品物がぎつしり詰めてあります、年はとつてぬても女だから軍事探偵を願つてゐるのですが探偵を願ってもなったら馬賊の一人や三人殺した上で殺されいのは私の本懐です、死はしたとで殺されるのでも気に大の中にはあるのですが呼ばしてゐるのですが呼ばしてゐるのです。死は

信州指り、やれ京都だ、東京だと廻って歌舞を、関友をでも入つたといふ人はあるが満州の歌跡巡りを單身でやつて来た人が少ないので中つて来た人が少ないのでははがいのです。このゆきたいと語ってもだっと歌響を始め、出衆得を始め、出来得れば爆ぶでを記して一両日中にいると語ってゐるへ宮霞

山學

で來る

し午後四時頃散會した其他重要案件に就き協議をな

られたし

日迄に申込せられたし詳細本校に関合せ

告

デ

二二十十名名

澤校長昨日時の旅立

學校衛生講習で教部、錦州で

靈場兵隊婆さん來京

ですから死ぬ覺悟です、この老いた個は神機です、この老いた個は神

内地あたりでも四國巡りや 心は 4 心は 4

は富士屋旅館でン

出致した、新京驛第一本14 大時二十分發あじあでシベリロで歐米各國の中等學校数 校長矢澤邦彦氏は十四日午後 六時二十分發あじあでシベリロ六時二十分發あじあでシベリロ

京各中初等學 兄その他多數

文教部學務司では學校生徒兄 室の體位向上策として來る二 主がて省下各學校教職員を召 に於て省下各學校教職員を召

日人女子從業員

匪倒を

慰安會

飲食店組合家族

集學校衛生課習會を開催する が講師として二十三日本部より佐仲衛生官及び于希潤氏が 出張する

0 4

誰

居らぬ

人ひ

職業

紹介所五月成績

でりで求人側から悲鳴

禄十つた、彼のなりなる後裔等はないのだらら

的け獨をた十ームし関惑がよりで をなれるが、 でであるがでするした。 は感がでするとした。 はないないでする。 はないでは、 ででは、 で

を埋立し最作物を作つてる を埋立し最作物を作つてる を埋立し最作物を作つてる。 を埋立し最作物を作つてる。 を埋立し最作物を作ってる。 を埋立し最作物を作ってる。 を埋立しま作物を作ってる。 を埋立しま作物を作ってる。 を埋立しま作物を作ってる。 を埋立しま作物を作ってる。 を埋立しま作物を作ってる。 を埋立しま作物を作ってる。 を埋立しま作物を作ってる。 を埋立しま作物を作ってる。 を埋立しま作物を作ってる。

るが健康上からみても非常 に効果があり一ヶ月に一貫 に効果があり一ヶ月に一貫 を然軍職式で精神訓練をや 発然軍職式で精神訓練をや か行軍をやる、現在では急 加人員が三十萬人もあり官 な、新らやましい限りであつ に、ちらやましい限りであつ

《と正解した者一千四十二に 一に上り其內。午後九時八分 一に上り其內。午後九時八分

2 一都本部に於て主御者協和會首
一 対 三十分から興安大路協和會首

| 局齊 伊藤南氏、市公署黒田| 原、三原各部員、鴻鐵新京事務

本

校教授

銀行、 科目

官廳、鄉肥、珠算

記學

生募

(脚肥の智識ある者に就職難なじ)

出前は迅速

サービス申上ます

以て厚く御禮申上の幸はふ國に生れて夢至極の儀でごれ、國に生れて夢至極の儀でごれ、國に生れて夢至極の儀でごれ、明明とは、世界の人に、世界の後に、世界の人は、世

ランノ洋法クラフ 第町二丁目二十番地(東本願寺裏) 一、初夏洋裁研究生募集 二、科 目 子供服科、婦人服科、並に随意 科、研究科 三、期 日 六月十六日より九月 十五日迄三ヶ月間 十五日迄三ヶ月間

以具

御一報文第詳細パソフレット

でも御願ひ申すべ でも御願ひ申すべ ございません

昭和十二年六月十四日

理和街百十四號松下とみば の全生文方野村後雄 へ八等 では全生文方野村後雄 へ八等 では全生文方野村後雄 へ八等 では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、 のでは、一次では、一次では、 のでは、一次では、 のでは、 の

**人所日** 

二階二〇七號

◇冷麵部

なつゆで制理

開店御披露

2 六月十六日午前十時以後 (成る可く妻帶者を希望す)

大権資なる人二名三丁目 背陽ビル内 電話(三)五大三〇巻 (三)五人三〇巻 (三)五人三〇巻 (三)五人三〇巻 (三)五人三〇巻 (三)五人三人巻 (三)五人三人巻 (三)五人三人名

0

| 個八十銭月給最高百三十三国 | 青程度で身體の健全なるもの | 場響備員として採用されたも は満洲で光常の見込みなく内 | が先に捌けてゆく模様である | は満洲で光常の見込みなく内 | が先に捌けてゆく模様である | は満洲で光常の見込みなく内 | で大學専門単校等上級學校 地各顆職衆紹介所と連載をと 頭道河子北方四キロの地點に一個振部歐の田尻脈は十三日 本最間において軍曹山口政次 十八日から開催 撃破田尻除、 橋本畵伯 遭遇交職數対敵に多大の打 響の職死をとげた 山口軍曹戰死

時の記念日にサイレン吹|鳴をもつて行つた正確時間適 當選者發表さ 懸賞問題 午後九時八分 3

正解!

海林に

本邦特有の接端にその道を提 が精進すること数是異認に斯 界の雌として我が美術界に断 が構進すること数是異認に斯 県の雌として我が美術界に断 を選ば四條派の流れをくみ の書風は四條派の流れをくみ が高はに置面に贈つてゐる とこまでも宮質的に非凡の才

次回後の

取扱

六三の

間大同大衛三中井百貨店で経済の第一人者四本光風書品

70 47

家庭に保險

院內產婆派遣

完

保險は大き

五一百木良二一家 電車京園通』日本主義運動の 元老五百木良三翁はかれて胃 元老五百木良三翁はかれて胃 のところ十四日朝逝去した、 事年六十八、翁は明治三年愛 優縣に生れ漢學数を出で、日 本主義運動に身を投じ、その 本主義運動に身を投じ、その 本主義運動に身を投じ、その 本主義運動に身を投じ、その 本主義運動に身を投じ、その 公園鹹忠碑前で盛會に催さ会は十四日午前十一時から京飲食店組合の家族献安選

技の所 間合せ電話③三七六七へ 間合せ電話③三七六七へ

興安大路四一九

電話(二)二大〇七番

酒場部【相出二品無料デニー

(女給樣は居ません)

赤線ワイングリル

醫

院

上六月十七日迄に當課へ出頭相成度集十希望者は左記により自筆履騰書持念の常行新設屯中銀俱樂部日人女子受付係を募 滿洲中央銀行總行庶務課 市・七歳より二十五歳迄の者 一本でのでは高等女學校卒業者 で、新京市内に確實なる身元保證人を で、新京市内に確實なる身元保證人を で、新京市内に確實なる身元保證人を 新京高等簿記學校 もデス もデス もデス もデス もデス もかり寶山百貨店も出来ます赤 線のとなりわ電々の店デス 線のとなりわ電々の店デス ののおねだり所として皆様の赤 んのおねだり所として皆様の赤 が 線を御利用下さい 黨も辛黨も老も若きも小供さんぜひ一度御來店試食願ひます甘 全品二十五銭 以下デス皆様の赤線が開店したのデス

ビ菊倉席五品ル宗品 富士町 第三、二六〇 大四十十

百二十二

金林

-(A)

髑

修選を助けてえと云ふンだ

州間を裏切つ

ねえからよ

「恋えれえ、なアに、大したこと

號十七百千五第

し仲間に知れやうものな

けて、船の中心を保ちながら、

て、輪の中心を保ちながら、安

新りできれて戦略: ・ 教団がほる歌楽に

「あツー」と、数十の事げる類似

窓に義理を立てょる、それは決しりだ。天下の法を犯してまで、 恋

るのがすぐ目につ

くのの数・はんかるという。 くのの数・はんかない。 かかき、ため、生きがいる。 一方のではんかない。 一方のではない。 一方のではんかない。 一方のではない。 一方のでは、 一方の

もその様に、 類月の船が緩いであ

置う関南のす。だから親分、

方が常世向で開密んすよ

さが判らねえ」 の食の、これや少し

外へ出られるに違えはねえが! の出られるに違えはねえが!

「腹腹 組に脅かされて仕方な根ツからの脚筋 ぢゃ鯛 座んせ その仲間になったので・・・・・」

歌して戦ってやらう

『英鷹へ船を題すと云つたから、 「出られるよ、だが下は水だ。秋 怪しいぜ」

り気に気った。 順見合せて意味\*

**『らむ、其関から展手に出られね** 『馬鷹に呼聞が掛るちやねえか矢とも其農へ出て來ない。 穀白は何をしてゐるのか、特て 歌七が、そのいに近寄つて外を は照割の水道で、一間位の、矢張り被撃の想像通り、

衆を其関からお助け 申した上、 西 「親分歌が、もし、あつしの罪を 生か死?(四) ら出て遊ぶんですが、 「へえ、只今お出し申します。暫 「うむ、此端のか?」

杢 んですが、今直(…」 組: 即衛

たどんな際に引う掛かるかも知れ 病膚皮キュガズム れあ顔・菌陰・虫た・虫水し試おけつ一に等

產國洲満 ンモレンリキが清



の運動、 こく北方から年寅を開いて、ちつとでも彩を軽くして美いないのでは、 こく北方から年寅を開いて、 関かれ、 撃か

他になって読いた。

ネルの間は思ったより覧く

中に動をおどらした。そうして

二人は投心して英雄を設けて水

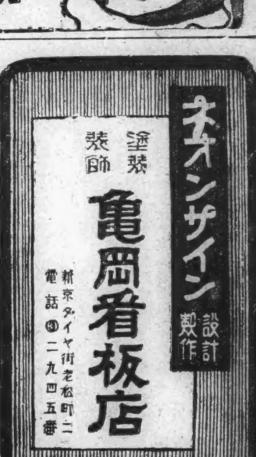
豊家路モンテカルロ降

電三二三二〇

E

金





物 履

製 長 病科 因 造 唄 Ξ 産婦人科 新京器町二丁1 NABEL BEE 店 0 目 四番 三

備完至姚万至丙 送 內貸小譜 外付口預 爲對引金 全替引金金 療物 立本店橫 小内 児 科科 金金横 院長 医学士 河野五百里 松 木 · 大五三〇番 存

雕

壹億多千貳百六拾五萬圖 壹億圓(全額拂込濟) 銀行 の組蓄へも迅速に御取扱致します。定期預金百鵬より、其他内地預金 支新 代表(三)三大一 店京

EP 刷

\* 雙發洋行印刷部 **新京日本橋頭七十四番地** 

業營 品 目 キッコーガ 月 味サツ 諸食 乾物 ポロ 0 雜穀 雑罐萬 桂 製 糖 類 語 油 鶴 冠 素 ル

新京日之出町二丁目 ●價額見積書御入用の節は 滿洲商事株式會社 話(三)三六八三〇二三〇

御申越下され度早速御一報可申

草 子 御 家 贈 庭 用 用

意注

噩 ٨ + 屋

御



·杯音·应家范·哲主公。翻溪木

菓 煙 酒

寢

科科

医学士

出

东

勇